

〈うろこ雲〉

昨日は久しぶりに“畑キャンプ”をした。アオマツムシの傍若無人な鳴き声は21時過ぎには収まり、コオロギのささやくような鳴き声でやっと夜の静寂に身をゆだねられるようになった。パソコンやテレビに縛られず、なんでもない時間を過ごす。コーヒーを飲みながら雲間から出たり隠れたりしている十六夜の月をぼーっと眺める至福の時。何も考えないようにしても他愛もないことが浮かんで消えていく。凡人には“無”の境地などはほど遠い。



けたたましいモズの鳴き声で目が覚め、外に出る。と、空一面にうろこ雲が広がりまさにイワシの大群が大海原に群がっているよう。東西南北、どこを見てもイワシの大群！このうろこ雲（いわし雲とも）が出ると天気は下り坂になるらしい。時計を見ると5時半、東の空が明るくなってきた。そろそろ日が昇る時間だ。イワシの体が赤く染まり始め、一日の始まりを告げる。風にくすぐられコスモスも目を覚ました。